

職業実践専門課程の基本情報について

学校名 仙台コミュニケーション アート専門学校専門学校		設置認可年月日 平成19年3月29日	校長名 学校長 濱田 敏幸		所在地 〒984-0051 宮城県仙台市若林区新寺2-1-11 (電話) 022-292-2122																						
設置者名 学校法人 滋慶文化学園		設立認可年月日 平成8年3月13日	代表者名 理事長 覚野 博夫		所在地 〒812-0032 福岡県福岡市博多区石城町21-2 (電話) 03-6734-2939																						
分野 文化・教養	認定課程名 文化・教養専門課程	認定学科名 クリエーティブコミュニケーション科 昼間1部		専攻 平成21年文部科学省 告示第21号	高度専攻																						
学科の目的 本校は、本校は、教育基本法及び学校教育法に基づき、文化・教養専門課程及び衛生専門課程を設置し、音楽ビジネス、商業デザイン、エコロジー、食並びに健康に関する専門的知識並びに技能を修得させ、もってその分野で貢献できる専門家及び指導者の養成を図ることを目的とする。																											
認定年月日 平成27年2月17日																											
修業年限 3年	昼夜 昼間	全課程の修了に必要な 総授業時数又は総単位数 2700時間	講義 0時間	演習 2520時間	実習 180時間	実験 0	実技 0																				
生徒総定員 120人		生徒実員 144人	留学生数(生徒実員の内) 1人	専任教員数 4人	兼任教員数 14人	総教員数 18人																					
学期制度	■1学期: 4月1日～9月30日 ■2学期: 10月1日～3月31日 ■3学期:			成績評価	■成績表: 有 ■成績評価の基準・方法 試験は各学期ごとに行い、最終学年の終わりに、卒業試験を行う。試験の成績は授業科目ごとに100点満点とし、60点以上を合格点とする。																						
長期休み	■学年始: 4月1日 ■夏季: 8月1日～8月31日 ■冬季: 12月23日～1月8日 ■学年末: 3月20日～4月9日			卒業・進級条件	所定の授業日数の3分の1以上出席した者は、進級又は卒業することはできない。また、進級・卒業は、授業科目の成績評価及び進級判定会議・卒業判定会議の審議に基づき、校長が認定する。																						
学修支援等	■クラス担任制: 有 ■個別相談・指導等の対応 担任制度、三者面談、SSC(スチューデントサービスセンター)			課外活動	■課外活動の種類 学友会 ■サークル活動: 有 ■国家資格・検定/その他・民間検定等 (平成29年度卒業生に関する平成30年5月1日時点の情報)																						
就職等の状況※2	■主な就職先、業界等(平成29年度卒業生) ゲーム制作会社、WEB制作会社、デザイン制作会社、アクセサリ制作会社など ※上記以外に主として、出版社との契約(デビュー)を目指す。 ■就職指導内容 業界研究前指導、業界研修指導、企業説明会前指導、履歴書作成指導、面接指導、ビジネスマナー指導 ■卒業生数: 32人 ■就職希望者数: 17人 ■就職者数: 17人 ■就職率: 100% ■卒業生に占める就職者の割合: 53.1% ■その他 ・進学者数: 0人 ・デビュー活動(創作活動): 5人 ・出版社契約: 1人 (平成29年度卒業生に関する平成30年5月1日時点の情報)			主な学修成果(資格・検定等)※3	<table border="1"> <thead> <tr> <th>資格・検定名</th> <th>種</th> <th>受験者数</th> <th>合格者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>JESCOコミュニケーションスキルアップ検定</td> <td>③</td> <td>47人</td> <td>45人</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> ※種別の欄には、各資格・検定について、以下の①～③のいずれかに該当するが記載する。 ①国家資格・検定のうち、修了と同時に取得可能なもの ②国家資格・検定のうち、修了と同時に受験資格を取得するもの ③その他(民間検定等) ■自由記述欄 (例)認定学科の学生・卒業生のコンテスト入賞状況等			資格・検定名	種	受験者数	合格者数	JESCOコミュニケーションスキルアップ検定	③	47人	45人												
資格・検定名	種	受験者数	合格者数																								
JESCOコミュニケーションスキルアップ検定	③	47人	45人																								
中途退学の現状	■中途退学者: 3名 平成29年4月1日時点において、在学者122名(平成29年4月1日入学者を含む) 平成30年3月31日時点において、在学者119名(平成30年3月31日卒業生を含む) ■中途退学の主な理由 経済的理由、進路変更、病氣・治療、学生生活不適合 ■中退防止・中退者支援のための取組 個人面談、学費相談(分割納入や延期納入)、保護者面談、三者面談、補修、課題提出			中退率 2.5%																							
経済的支援制度	■学校独自の奨学金・授業料等減免制度: 有 滋慶特別奨学制度 ■専門実践教育訓練給付: 給付対象・非給付対象																										
第三者による学校評価	■民間の評価機関等から第三者評価: 無																										
当該学科のホームページURL	http://www.sendai-com.ac.jp																										

(留意事項)

1. 公表年月日(※1)

最新の公表年月日です。なお、認定課程においては、認定後1か月以内に本様式を公表するとともに、認定の翌年度以降、毎年度7月末を基準日として最新の情報を反映した内容を公表することが求められています。初回認定の場合は、認定を受けた告示日以降の日付を記入し、前公表年月日は空欄としてください

2. 就職等の状況(※2)

「就職率」及び「卒業生に占める就職者の割合」については、「文部科学省における専修学校卒業生の「就職率」の取扱いについて(通知)(25文科生第596号)」に留意し、それぞれ、「大学・短期大学・高等専門学校及び専修学校卒業予定者の就職(内定)状況調査」又は「学校基本調査」における定義に従います。

(1)「大学・短期大学・高等専門学校及び専修学校卒業予定者の就職(内定)状況調査」における「就職率」の定義について

①「就職率」については、就職希望者に占める就職者の割合をいい、調査時点における就職者数を就職希望者で除したものをいいます。

②「就職希望者」とは、卒業年度中に就職活動を行い、大学等卒業後速やかに就職することを希望する者をいい、卒業後の進路として「進学」「自営業」「家事手伝い」「留年」「資格取得」などを希望する者を含みません。

③「就職者」とは、正規の職員(雇用契約期間が1年以上の非正規の職員として就職した者を含む)として最終的に就職した者(企業等から採用通知などが出された者)をいいます。

※「就職(内定)状況調査」における調査対象の抽出のための母集団となる学生等は、卒業年度に在籍している学生等とします。ただし、卒業の見込みのない者、休学中の者、留学生、聴講生、科目等履修生、研究生及び夜間部、医学科、歯学科、獣医学科、大学院、専攻科、別科の学生は除きます。

(2)「学校基本調査」における「卒業生に占める就職者の割合」の定義について

①「卒業生に占める就職者の割合」とは、全卒業生数のうち就職者総数の割合をいいます。

②「就職」とは給料、賞金、報酬その他定期的な収入を得る仕事に就くことをいいます。自家・自営業に就いた者は含めるが、家事手伝い、臨時的な仕事に就いた者は就職者とはしません(就職したが就職先が不明の者は就職者として扱う)。

(3)上記のほか、「就職者数(関連分野)」は、「学校基本調査」における「関連分野に就職した者」を記載します。また、「その他」の欄は、関連分野へのアルバイト者数や進

3. 主な学修成果(※3)

認定課程において取得目標とする資格・検定等状況について記載するものです。①国家資格・検定のうち、修了と同時に取得可能なもの、②国家資格・検定のうち、修了と同時に受験資格を取得するもの、③その他(民間検定等)の種別区分とともに、名称、受験者数及び合格者数を記載します。自由記述欄には、各認定学科における代表的な学修成果(例えば、認定学科の学生・卒業生のコンテスト入賞状況等)について記載します。

1.「専攻分野に関する企業、団体等(以下「企業等」という。)との連携体制を確保して、授業科目の開設その他の教育課程の編成を行っていること。」関係

(1)教育課程の編成(授業科目の開設や授業内容・方法の改善・工夫等を含む。)における企業等との連携に関する基本方針

企業との連携について、従来、学科の養成目的(学生が卒業時に身につけておくべき能力)実現にむけ、学校の教職員と業界で活躍している兼任教員(非常勤講師)が、講師授業科目の開設や授業内容の改善を図るため、年2回の講師会議を開催しています。教育課程編成委員会においては、非常勤講師以外の業界関係者からの意見も、より詳細に教育内容に反映させることを目的とします。

(2)教育課程編成委員会等の位置付け

本校の教育課程編成委員会は理事会のもとに設置され、委員会の適切な運営は理事長が担保することになっています。また、学校運営においては教務組織規則において、「委員会での審議を通じて示された企業等の要請その他の情報、意見を十分に生かし、実践的かつ専門的な職業教育を実施するにふさわしい教育課程の編成に努める」ことが明記され、このために従い、委員会を運営します。

(3)教育課程編成委員会等の全委員の名簿

平成30年4月1日現在

名前	所属	任期	種別
鹿野 佐一	内閣府公認公益社団法人 全日本司厨士協会 関東総合地方本部宮城県本部	平成29年4月1日～平成31年3月31日(2年)	①
榎澤 明	Bistoro Hare-masu	平成29年4月1日～平成31年3月31日(2年)	③
目等 進	(一社)日本音楽スタジオ協会(JAPRS)	平成29年4月1日～平成31年3月31日(2年)	①
小池 正邦	㈱東北共立	平成29年4月1日～平成31年3月31日(2年)	③
橋本 徳郎	㈱フォーパックス	平成29年4月1日～平成31年3月31日(2年)	③
溝川 誠司	公益社団法人 日本広告制作協会 教育支援部会	平成29年4月1日～平成31年3月31日(2年)	①
今野裕介	㈱エクスマインド	平成29年4月1日～平成31年3月31日(2年)	③
佐山 義則	公益財団法人日本生態系協会	平成29年4月1日～平成31年3月31日(2年)	①
遠藤 敏也	㈱RIDGEWYN'S JAPAN	平成29年4月1日～平成31年3月31日(2年)	③
今野直明	Patisserie genki	平成29年4月1日～平成31年3月31日(2年)	③
吉田 孟史	学校法人滋慶文化学園 常務理事	平成29年4月1日～平成31年3月31日(2年)	
濱田 敏幸	仙台コミュニケーションアート専門学校 学校長	平成29年4月1日～平成31年3月31日(2年)	
田中 実	仙台コミュニケーションアート専門学校 副校長	平成29年4月1日～平成31年3月31日(2年)	
村山 洋樹	仙台コミュニケーションアート専門学校 事務局長	平成29年4月1日～平成31年3月31日(2年)	
坪沼 和寛	仙台コミュニケーションアート専門学校 教務部長	平成29年4月1日～平成31年3月31日(2年)	
石川 一也	仙台コミュニケーションアート専門学校 副校長/教務部長	平成29年4月1日～平成31年3月31日(2年)	
渡邊 康祐	仙台コミュニケーションアート専門学校 教務部長	平成29年4月1日～平成31年3月31日(2年)	
坂本 訓勸	仙台コミュニケーションアート専門学校 教務部長	平成29年4月1日～平成31年3月31日(2年)	

※委員の種別の欄には、委員の種別のうち以下の①～③のいずれに該当するか記載すること。

- ①業界全体の動向や地域の産業振興に関する知見を有する業界団体、職能団体、地方公共団体等の役職員(1企業や関係施設の役職員は該当しません。)
- ②学会や学術機関等の有識者
- ③実務に関する知識、技術、技能について知見を有する企業や関係施設の役職員

(4)教育課程編成委員会等の年間開催数及び開催時期

年間開催数及び開催時期:年2回6月・3月に開催。また、委員会欠席者に対しては個別に意見聴取を行うなど、必要に応じて適宜分科会を開催する場合があります。

(開催日時)

第1回 平成29年 6月17日 13:30～15:30

第2回 平成30年 2月 3日 15:30～17:00

(5)教育課程の編成への教育課程編成委員会等の意見の活用状況

企業課題や企業プロジェクトのみならず、外部のコンテスト・コンペティションへ更に取り組むようにしました。また、企業課題や企業プロジェクトの対応として、プレゼンテーション力が重要視されるので、教育課程における具体的なシラバスについても検討を行った。

2. 「企業等と連携して、実習、実技、実験又は演習(以下「実習・演習等」という。)の授業を行っていること。」関係

(1) 実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針

3つの教育理念(実学教育・人間教育・国際教育)を掲げ、業界が求める人材を業界と共に育成する(産学協同教育)という考えのもと、現場の第一線で活躍するプロに非常勤講師を依頼するなど、学生が目指す職業に必要な知識・技術を指導している。

(2) 実習・演習等における企業等との連携内容

連携企業と講師業務委託契約を交わした上で、現場の第一線のプロが非常勤講師として授業を行っている。非常勤講師と学校が協議し作成したシラバスを基に授業は進行され、成績評価は毎授業での到達目標への達成度並びに学期毎の定期試験の結果をもって総合的に評価されます。また、授業実施後の連携も密にし、以降の授業改善にも反映させます。更に、業界研修(インターンシップ)を実施し、企業の担当者の指導の下、現場体験を深め、更なる即戦力としての知識・技術等の習得を行います。

(3) 具体的な連携の例※科目数については代表的な5科目について記載。

科目名	科目概要	連携企業等
アドバタイジングデザインⅠ	デザイン業界と様々なグラフィックデザインの認識、多様性の理解。グラフィックデザインに必要な基礎知識と基礎的なデザイン表現技法を習得。	Planning Markプランニング マーク
アドバタイジングデザインⅡ	実践的で具体的なテーマに対しマーケティングを活かし企画立案で効果的なデザインを制作、プレゼンテーション技法で訴求力も養いキャリア教育に繋がります。	プランニングオフィス・カノウ
業界研修	各業界の現場で実際の仕事を体験し、業界の実務やルール・マナー等を学ぶことによって、就職活動時に自信と成果に繋がっていきます。	(株)デジタルハーツ、(株)デジタルワークスエンターテインメント、(株)スパークス、(株)エクスマインド

3. 「企業等と連携して、教員に対し、専攻分野における実務に関する研修を組織的に行っていること。」関係

(1) 推薦学科の教員に対する研修・研究(以下「研修等」という。)の基本方針

学園の定める教員研修規定において、教員の授業内容・教育技法の改善並びにクラス運営方法の向上、マネジメント能力を含む指導力の向上を研修の目的と定めています。中途退学者防止に向けた「学生ひとり一人」に対する対応案の企画立案・実施・評価というPDCAサイクルを展開することを年間の教育活動の中心に据え、ファカルティ・ディベロップメント活動を推進する専任教員に対し、以下の二つの要素が年間を通じた授業内容に反映されるよう研修を行う。

①キャリア教育の視点、②ひとり一人を見て行く視点

さらに、専任教員と兼任教員で組織する講師会議においてこの方針を共有し、授業内容のチェック、教育技法改善に向けた研修を実施している。

(2) 研修等の実績

①専攻分野における実務に関する研修等

「コミュニケーションアーツ教育分科会」(連携企業等:一般社団法人滋慶教育科学研究所)

期間:平成29年7月5日(水)、11月13日(月)、平成30年2月5日(月) 対象:事務局長、教務部長

内容:○これから求められるクリエイター創造に向けて(篠塚校長)○学生満足度向上への取組み○全国企業プロジェクト
○カリキュラム検討○就職・デビュー状況○教材検討

②指導力の修得・向上のための研修等

「新入職者FDマイクロレベル研修」(連携企業等:一般社団法人滋慶教育科学研究所)

期間:平成29年3月30日(木) 対象:平成29年度新入職者研修受講者で教務配属の教員及び教務事務

テーマ:学生変化に沿った教授法の基本(マインドとスキル)を習得する

内容:○FD研修の目的○滋慶学園グループのFD研修体系について○授業デザインとは○ティーチングの基本スキル○授業を閉じる6つの要素から学習指導案へ

「FDマイクロレベルフォローアップ研修」(連携企業等:一般社団法人滋慶教育科学研究所)

期間:平成29年6月8日 対象:平成29年度新入職者FDマイクロレベル研修受講者で、教科授業を担当される教職員

テーマ:①FDマイクロレベル研修受講後の実際の授業の振り返りを行い、授業改善の工夫ができる②グループ(クラス)の成長を促すコーチングの基礎を学び、実践することができる③公開授業の実施と参加に向けて準備することができる

内容:○FDマイクロレベルフォローアップ研修の目的○授業リフレクション≪授業リフレクションの進め方≫(グループと個人の成長を促すコーチングスキルについて、コーチングスキルを用いた事例検討)○公開樹器用までの取組みとその方法について

「マネジメント研修」(連携企業等:一般社団法人滋慶教育科学研究所)

期間:平成29年10月24日(火) 対象:学校長/顧問/各校・各企業のマネージャークラス

テーマ:マネジメント教育について

内容:○浮舟総長講演○滋慶学園グループの歩み○パネルディスカッション/テーマ:「スペシャリストのマネジメント」

①専攻分野における実務に関する研修等

第2回「関西教育ITソリューションEXPO」(連携企業等:リードエグジジビジョンジャパン)

期間:平成30年11月7日(水) 対象:大学、専門学校及び教育機関

内容:業務支援システム、ICT機器、デジタル教材、eラーニング、など教育分野日本最大の専門展

「コミュニケーションアーツ教育分科会」(連携企業等:一般社団法人滋慶教育科学研究所)

期間:未定 対象:事務局長、教務部長

内容:○これから求められるクリエイター創造に向けて(篠塚校長)○学生満足度向上への取組み○全国企業プロジェクト
○カリキュラム検討○就職・デビュー状況○教材検討

②指導力の修得・向上のための研修等

「教職員カウンセリング研修<一次研修・二次研修>」(連携企業等:一般社団法人滋慶教育科学研究所)

期間:<一次研修>平成30年10月2日(火)~3日(水)<二次研修>平成30年10月3日(水) 対象:学生対応、保護者対応を行う教職員<一次研修>教職員カウンセリング研修未受講者<二次研修>教職員カウンセリング一次研修を終了(合格)した者(二次研修未受講者)

内容:<一次研修>○研修の全体像について○研修の目的(滋慶学園グループの教職員について、担任や教職員が理解しておくべき学生の支援と指導)○講義「学生対応に必要な青年期心理の基礎知識」○講義「カウンセリングマインドと学校におけるカウンセリング」○講義「カウンセリングマインドを基盤とした支援と指導」○講義「学生支援のデザイン」○一次研修試験○事例検討の進め方○事例検討(事例検討・事例を基にフレームワークを活用した問題解決シュミレーション)<二次研修>○研修の全体像について○研修の目的○事例検討の進め方○事例検討(事例を基にフレームワークを活用した問題解決シュミレーション)○グループワーク○二次研修試験

「マネジメント研修」(連携企業等:一般社団法人滋慶教育科学研究所)

期間:平成30年10月24日(水) 対象: 学校長/顧問/各校・各企業マネージャークラス

内容:未定

「フォローアップ研修」(連携企業等:一般社団法人滋慶教育科学研究所)

期間:平成30年11月29日(木) 対象:平成29年度新入職研修受講者

4.「学校教育法施行規則第189条において準用する同規則第67条に定める評価を行い、その結果を公表していること。また、評価を行うに当たっては、当該専修学校の関係者として企業等の役員又は職員を参画させていること。」関係

(1)学校関係者評価の基本方針

卒業生、保護者代表、近隣関係者、高校関係者とともに、業界関係者により構成される学校関係者評価委員会を組織し、この委員会が、学校教職員が行った自己点検・自己評価の内容を審議・評価することを通し、学校運営の改善に活かすことを方針とする。

(2)「専修学校における学校評価ガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの評価項目	学校が設定する評価項目
(1)教育理念・目標	教育理念・目的・育成人材像
(2)学校運営	学校運営
(3)教育活動	教育活動
(4)学修成果	教育成果
(5)学生支援	学生支援
(6)教育環境	教育環境
(7)学生の受入れ募集	学生募集と受け入れ
(8)財務	財務
(9)法令等の遵守	法令の遵守
(10)社会貢献・地域貢献	社会貢献
(11)国際交流	教育理念・目的・育成人材像

※(10)及び(11)については任意記載。

(3)学校関係者評価結果の活用状況

委員より各項目について3段階評価で概ね「優れている」との評価を頂いた。また、「コミュニケーション能力の更なる向上」「中途退学者の低減」「社会人基礎力の向上」など多くのご意見も頂いた。運営会議、リーダー会議、学科会議、全体会などで、これらの意見を共有に向けた検討・環境準備に取り組んでいます。

(4) 学校関係者評価委員会の全委員の名簿

平成30年4月1日現在

名前	所属	任期	種別
新田 彩香	卒業生	平成29年4月1日～平成31年3月31日(2年)	卒業生代表
光山 英子	保護者	平成29年4月1日～平成31年3月31日(2年)	保護者代表
小笠原 朋之	聖ドミニコ学院中学校高等学校	平成29年4月1日～平成31年3月31日(2年)	高等学校関係者
阿部 耕治	東八中央親交会	平成29年4月1日～平成31年3月31日(2年)	地域関係者
小池 正邦	㈱東北共立	平成29年4月1日～平成31年3月31日(2年)	業界関係者
遠藤 敏也	㈱RIDGEWYN'S JAPAN	平成29年4月1日～平成31年3月31日(2年)	業界関係者
榭澤 明	Bistoro Hare-masu	平成29年4月1日～平成31年3月31日(2年)	業界関係者
今野直明	Patisserie genki	平成29年4月1日～平成31年3月31日(2年)	業界関係者
今野裕介	㈱エクスマインド	平成29年4月1日～平成31年3月31日(2年)	業界関係者

※委員の種別の欄には、学校関係者評価委員として選出された理由となる属性を記載すること。

(例)企業等委員、PTA、卒業生等

(5) 学校関係者評価結果の公表方法・公表時期

(ホームページ)・広報誌等の刊行物・その他()) 公表時期:平成30年9月30日

URL: <https://www.sendai-com.ac.jp/>

5. 「企業等との連携及び協力の推進に資するため、企業等に対し、当該専修学校の教育活動その他の学校運営の状況に関する情報を提供していること。」関係

(1) 企業等の学校関係者に対する情報提供の基本方針

学校で毎年定める事業計画の実施方針において提起された目標(指導方法のイノベーション、中途退学防止、卒業後の離職防止等)を具体化するため、企業等からヒアリングを行い、業界の動きを踏まえた実行計画を作成しています。企業等への具体的な情報提供方法としては、業界関係者である兼任教員と教職員の間で講師会議を開催し、授業科目編成や各科目のシラバス等について審議を行い、そこで出された意見を反映させています。また、業界研修(インターシップ)においては、実習先へ教員が訪問し、学生の実習状況はじめ、学校・学科運営に対する意見を聞き取る等を実施し、意見集約とその反映を行っています。

(2) 「専門学校における情報提供等への取組に関するガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの項目	学校が設定する項目
(1) 学校の概要、目標及び計画	学校の概要、学校の沿革、建学の理念、その他の諸活動に関する計画
(2) 各学科等の教育	シラバス、進級・卒業要件等、学習の成果として取得を目指す資格、合格を目指す検定等、資格取得、検定試験合格の実績、卒業後の進路
(3) 教職員	教職員数、学校組織図、教員の実績
(4) キャリア教育・実践的職業教育	キャリア教育への取り組み状況、就職支援への取り組み状況
(5) 様々な教育活動・教育環境	設備紹介、学校行事への取り組み状況、課外活動
(6) 学生の生活支援	学生支援への取り組み状況
(7) 学生納付金・修学支援	学生納付金の取り扱い
(8) 学校の財務	財務資料
(9) 学校評価	学校関係者評価委員会
(10) 国際連携の状況	留学生の受け入れ状況、外国の学校等との交流状況
(11) その他	

※(10)及び(11)については任意記載。

(3) 情報提供方法

URL: <https://www.sendai-com.ac.jp/>

授業科目等の概要

(文化・教養専門課程クリエイティブコミュニケーション科昼間I部) 平成30年度																
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法			場所		教員		企業等との連携	
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任		
○			英会話	一般的な日常会話程度のコミュニケーション英語能力を身につけると共に国際性の感覚も身に付けます。	1通	60	4		○		○			○		
○			デッサン	線や明暗、調子などでバランスや質感、量感等物体の形をとらえ、表現することを学びます。また、フォルムを捉え立体表現の基となる表現力を養います。	1通	180	12		○		○				○	
○			ベーシックデザインⅠ	文字や平面構成と色彩構成のデザイン構成要素を使いデザインの基礎を学び、手描きだけでなくコンピュータを使用したデザイン制作演習を行います。	1通	120	8		○		○				○	
○			ベーシックデザインⅡ	商品企画を通して、種々のデザイン展開の知識、手法を学び、コンセプト、クリエイティブ、プレゼンテーションを学びます。	2通	120	8		○		○				○	
○			IT(information s technologe)	社会人として必須スキルとなっているビジネス系各種ソフトの基本的な操作方法を習得します。	1通	60	4		○		○				○	
○			マーケティング	テーマ毎に市場、動向をリサーチした企画・立案で効果的なデザインを制作、プレゼンテーション技法を使い相手に伝える訴求力と企画力を養います。	1通	60	4		○		○				○	
○			コンピュータグラフィックス	コンピュータの基礎知識をベースにし、コンピュータ作画ソフトである「Illustrator」「Photoshop」の操作を習得します。	1通	120	8		○		○				○	
○			キャラクターデザインⅠ	さまざまなジャンルに合わせた魅力的なイラスト、キャラクターを制作するための知識・技術を習得します。	1通	120	8		○		○				○	
○			キャラクターデザインⅡ	魅力的なオリジナルなイラスト、キャラクターを制作するための知識・技術を習得だけでなくキャラクター手法を使ってビジネスへの展開も学びます。	2通	120	8		○		○				○	
	○		3DデザインⅠ	3DCGのテクスチャー技術の向上やアニメーション技法を学び、キャラクターを自在に動かせるようにします。就職活動用作品を制作していきます。	2通	180	12		○		○				○	
	○		3DデザインⅡ	3DCGで、より高度な作品を作成し、作品のレベルを飛躍的にアップさせます。また、応用的な技術も身につけ、業界の即戦力を目指します。	3通	180	12		○		○				○	
	○		2DデザインⅠ	様々なテーマに合わせた作品制作に必要な知識や作画技法を手描きやコンピュータでの作画を通して学びます。	1通	60	4		○		○				○	
	○		2DデザインⅡ	コンピュータソフト「Illustrator」「Photoshop」でのデザイン、イラスト制作から更にネットワーク上で、情報やビジュアルを発信するためのデザイン制作も学びます。	2通	120	8		○		○				○	

○	プログラミングⅠ	デザインや編集の現場で必要とされるプランニング、企画やプログラミング、編集を通して様々なプログラミングのプロセスを学ぶ。	2通	180	12		○	○		○	
○	プログラミングⅡ	2Dや3Dコンテンツのプログラム制作や携帯やネットのプログラムの習得と共に様々なジャンルの企画立案を学ぶ。	3通	180	12		○	○		○	
○	アドバタイジングデザインⅠ	ビジュアル素材となる文字やイラスト、写真を使い、ロゴタイプや広告デザインなどのケーススタディーを通じてビジュアルコミュニケーションのノウハウを習得します。	1通	60	4		○	○		○	○
○	アドバタイジングデザインⅡ	実践的で具体的なテーマに対してマーケティングを活かし企画立案で効果的なデザインを制作し、プレゼンテーション技法で相手に伝える訴求力も養いキャリア教育に繋がります。	2通	60	4		○	○		○	○
○	映像表現Ⅰ	映像編集に必用な知識を学び、ノンリニア技術の基礎から応用までを習得し、作品制作することにより実務的な制作プロセスを学びます。	2通	120	8		○	○		○	
○	映像表現Ⅱ	合成や加工、エフェクト等、映像制作における最終の仕上げを学び、作品制作を通して実務プロセスのレベルアップで作品の質を高めます。	3通	120	8		○	○		○	
○	マンガ制作Ⅰ	マンガ制作に必要な知識と技法の基礎を学び、様々なマンガを制作します。	2通	120	8		○	○		○	
○	マンガ制作Ⅱ	マンガビジネスを見据えて様々なマンガを制作すると共に、マンガ家アシスタントに必要なテクニックも学びます。	3通	120	8		○	○		○	
○	シナリオライティング	シナリオの基本的な書き方、テーマの設定、ストーリーの構成を学ぶと共に、編集物の企画、取材、デザイン、印刷までの制作を演習します。	2通	120	8		○	○		○	
○	ポートフォリオ制作	就職活動で使用するために、各自の集大成となる自己紹介作品集であるポートフォリオを制作。	3通	60	4		○	○		○	
○	文章表現	文章で表現するための基礎から小説作りの基礎ノウハウまで学び、社会人としての一般常識も学びます。	3通	60	4		○	○		○	
○	コピーライティング	人を惹きつけるキャッチコピーや訴求力を高める表現から文章の表現力を習得します。	3通	60	4		○	○		○	
○	進級制作	1年間もしくは2年間の集大成として作品を個人もしくはチームにおいて制作し、進級に値する理解・演習力を習得しているかを評価します。	1通 2通	240	16		○	○		○	
○	卒業制作	3年間の集大成として、これまで学んできた知識、技術を使って表現した成果を総合的に審査し、卒業に値する理解・演習力を修得しているかを評価します。	3通	180	12		○	○		○	
○	業界研修	各業界の現場で実際の仕事を体験し、業界の実務やルール・マナー等を学ぶことによって、就職活動時に自信と成果に繋がっていきます。	3通	180	6		○	○		○	○
合計			28科目	2,700単位時間(174単位)				

卒業要件及び履修方法		授業期間等	
3年間の内に2,700時間を履修し単位を取得すること。卒業認定された者。		1学年の学期区分	2期
		1学期の授業期間	15週

(留意事項)

- 1 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合
- 2 企業等との連携については、実施要項の3(3)の要件に該当する授業科目について○を付すこと。